



EAnetwork

当ニュースレターは、株式会社アースアプライザルより、最新のニュースと解説を定期的にお届けしています。このEAnetworkは弊社HPより配信のご登録を行われた方、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方、及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。

ニュースレターの送付には、お客様から頂戴したお名刺やお申し込みになった電子メールに記載されたお客様の個人情報を利用してまいります。弊社の個人情報保護に関する基本方針は、弊社ホームページに掲載しております (<http://www.earth-app.co.jp/privacypolicy.htm>)。個人情報の利用に関して同意いただけない場合、また、今後配信を希望されない方は、お手数ですが最終ページにチェック、ご記入の上FAXにてご返送、または eanews@earth-app.co.jp までご連絡ください。基本方針に基づき、責任を持って登録を削除させていただきます。

今回のコラムは、自然由来重金属に関するアンケート調査結果（その2）をお送りいたします。

☆NEW 環境展に出展いたします☆

アースアプライザルは、2010年5月25日（火）～28日（金）に東京ビッグサイトにて開催される2010NEW環境展に出展いたします。（ブース：東1ホール 環境サポート・ソリューションパビリオン 目IT・ソリューションゾーン 小間番号1E18）

出展内容（予定）：土壌・地下水汚染調査／対策、アスベスト調査／分析／対策、環境デューデリジェンス、エンジニアリングレポート、PCB調査／対策、不動産鑑定・資産除去債務対応サービス、建築基準適合判定調査支援コンサルタント業務、CASBEEサービス、EHS監査、シオ情報検索サービス

本展示会の出展社数は3/19現在528社、また昨年の来場者数は17万名超と、非常に大規模な展示会です。ご来場をご希望の方は、ご招待状をお送り致しますので、メールにてご連絡ください。

連絡宛先 eanews@earth-app.co.jp

2010NEW環境展HP <http://www.nippo.co.jp/n-expo010/index.htm>

☆ Environmental column ☆

「自然由来重金属に関するアンケート調査結果 その2」

平成21年度に実施した「自然由来重金属汚染の企業及び行政における現状認識と取り組みに関する調査（以下、アンケート調査）」の結果の概要を報告する。当調査は、独立行政法人産業技術総合研究所より発注されたもので、協同組合地盤環境技術研究センター（以下、GETReC）が実施したものであり、発表に際しては産総研も了承している。

今回のアンケート調査の主な目的は、自然由来重金属問題についての現状と、当事者の認識を明らかにすることである。アンケートの送付先は、行政関連では47都道府県、政令指定都市及び土対法第37条で定める政令都市の環境部局、及び建設土木事業部局、民間では全国地質調査業協会連合会、GETReC関連、土壌環境センター、宅盤調査会社等から抽出し、全体では約800に達した。回答率は行政関連では50%を超え、民間でも40%に近く、合計では45%に達した。比較的良好な回答率であったと思われる。

なお、回答のなかった府県は、茨城県・大阪府・兵庫県・愛媛県・大分県・宮崎県の6県であり、市も含めて回答のなかったのは、愛媛県・大分県であった。

アンケートの主な項目は以下のとおりである。

1. 自然由来重金属等による問題への対応の現状について（←前号に記述）
2. 自然由来重金属等の問題の状況について
3. 今後の対応について
4. リスクコミュニケーションの取組について
5. （省略）

アンケート結果の概要を以下に示す。

2. 自然由来重金属等による問題の状況について

〔設問 2-1：自然由来重金属等による問題が発生したことはありましたか。〕

〔回答〕“ある”との回答は以下のとおりである。

【都道府県】：北海道、宮城県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、鳥取県、島根県、香川県、佐賀県、熊本県
（以上 15 県）

【市】：札幌市、函館市、仙台市、秋田市、郡山市、前橋市、川崎市、市川市、船橋市、町田市、横浜市、横須賀市、新潟市、岐阜市、静岡市、沼津市、岡崎市、大津市、豊中市、加古川市、津山市、下関市、徳島市、福岡市（以上 23 市）

民間についても同様の質問を行い、北海道から四国・九州の全ての地方で“ある”との回答を得た。即ち、自然由来重金属等による問題は、日本全土に広く分布していることが分かった。なお、行政及び民間の両方の回答において“問題の発生がある”という回答のない都道府県は、以下のとおりである。

【青森県・茨城県・富山県・山梨県・奈良県・高知県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県（9 県）】

今回のアンケート調査に対して行政から回答のなかった愛媛県と大分県では、民間事業者より“問題を経験したことがある”という回答があった。

なお、青森県については、自然由来重金属によると判断された事例が、既に新聞等で公表されているにも拘らず、今回のアンケート調査では回答に含まれていなかった。この辺りがアンケート調査の限界を感じる。

〔設問 2-2：自然由来重金属等による問題について、行政として何らかの指導をしたことがありますか、あるいは指導を受けたことがありますか。〕

〔回答〕“ある”との回答は以下のとおりである。

【都道府県】：北海道、宮城県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、新潟県、岐阜県、静岡県、三重県、鳥取県、香川県、熊本県（13 県）

【市】：札幌市、郡山市、川崎市、市川市、船橋市、横浜市、横須賀市、新潟市、岐阜市、静岡市、沼津市、岡崎市、大津市、豊中市、加古川市、津山市、下関市、徳島市、福岡市（19 市）

民間についても同様な質問を行なったが、指導を受けたことがある事業所が存在する都道府県は以下のとおりである。

【（東日本）：北海道・宮城県・福島県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・石川県・福井県・長野県・愛知県・三重県、（西日本）：大阪府・兵庫県・奈良県・鳥取県・広島県・愛媛県・福岡県・宮崎県（22 件）】

上記のように指導をした行政、あるいは指導を受けた事業所は、東日本（北海道・東北、関東、中部地方）の県が、西日本（近畿、中国・四国、九州・沖縄地方）に比べて多かった。

〔設問 2-3：どのような地域で発生しましたか。〕

〔回答〕回答は「住宅地域・工業地域・海岸部・山間部・その他」より選択する。行政の回答では以下の順で多かった。

【山間部（24）、住宅地域（20）、工業地域（12）、海岸部（8）その他（6）】

一方、民間では以下のとおりであった。

【住宅地域（56）、海岸部（40）、山間部（37）、工業地域（34）、その他（14）】

上記の結果を見ると、行政では山間部が多く、民間では住宅地域が多かった。これは、行政では

公共事業によるトンネルや切土などの事例が多く、民間ではマンション建設や宅地造成の事例が多いことによると考えられる。

〔設問 2-4：発生した自然由来重金属による問題は、どのような区分の問題でしたか。〕

〔回答〕回答は「人の健康に係わる問題・生態系に係わる問題・農作物に係わる問題・工事等に係わる問題、その他の問題」より選択する。行政の回答では以下の順であった。

【工事等に係わる問題（34）、人の健康に係わる問題（12）、農作物に係わる問題（3）、生態系に係わる問題（2）】であり、その他が（9）であった。地方別においても概ね同様な傾向であった。また、民間でも以下に示すように同様な順であった。

【工事等に係わる問題（72）、人の健康に係わる問題（33）農作物に係わる問題（8）、生態系に係わる問題（7）】であり、その他が（27）であった。

行政、民間ともに“工事等に係わる問題”が最も多いことは、土壌汚染が持つ現実的な問題とは、“工事等に係わる問題”であることを示している。次いで、人の健康に係わる現実的な問題が生じていないにも拘らず“人の健康に係わる問題”が多いことは、土対法の目的が人の健康被害の防止にあることに影響されたものと考えられる。

（以下、次号に続く）

アースアプレイザル 技術顧問 西田 道夫 技術士（応用理学・建設）

今回のEAnetworkいかがでしたでしょうか。このニューズレターへの感想や土壌汚染・アスベストに関するご質問など、お気軽にFax またはeanews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

配信方法につきまして、FAX配信からメール配信での配信へ変更をご希望の方は、下記にチェックの上FAXにてご返送、またはeanews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

株式会社アースアプレイザル

編集者：伊藤祥子

TEL: 03-5298-2151

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

次回の配信から、メール配信での配信希望 e-mail:

次回の配信を希望しない

コメント

アースアプレイザルグループおよび業務提携先

札幌アースアプレイザル・山京ビルマネジメント・リアックス（北海道）、EFA ラボラトリーズ、ジオネット・オンライン、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・ジオテック・リサイクルワン・協和地下開発（関東）、アイエーシー（神奈川）、

トーエネック・フルエング・東邦地水（中部）、建設基礎調査設計事務所（静岡）、阪神測建（関西）、

アースアプレイザル GF（大阪）、三協エンジニア（奈良）、エイト日本技術開発（岡山）、復建調査設計（広島）、

藤井基礎設計事務所（島根）、東建工業・アースアプレイザル九州（福岡）、三矢エンジニアリング（沖縄）

海外：Forensic Analytical/Golder Associates Inc./Tetra Tech EM Inc./WSP Group